



SATOYAMA
AICHI

人と自然の 共生セミナー

テーマ「人と自然の共生を より広く! より深く! 理解するために」

「人と自然の共生教室」を開催した団体による活動発表会、【気候変動への賢い適応～雨庭と『和の花』を考える～】と題してグリーンインフラから考える基調講演、参加者による意見交換を通して、これからの人と自然の共生のあり方や考え方、進め方などについて議論し、情報の発信と共有を図ります。

開会
あいさつ

あいち海上の森フォーラム実行委員会

マリ クリステイーヌ 会長

第1部

活動発表会

10:05 - 12:00

愛知県シェアリングネイチャー協会	理事	山本 康弘 氏
NPO 法人 海上の森の会	理事長	石川 明博 氏
森林インストラクター会”愛”	事務局長	武馬 和雄 氏
名古屋市水辺研究会	会員	篠田 望 氏

〈お昼休憩 50分〉

第2部

基調講演

12:50 - 14:20

気候変動への賢い適応～雨庭と『和の花』を考える～

京都大学名誉教授 森本 幸裕 氏

〈演奏タイム サックス&ギター 15分〉

あいち海上の森センター 林幸一・石原裕太

第3部

意見交換会

14:35 - 16:00

◎コーディネーター		
東北大学大学院教授		香坂 玲 氏
◎出演者		
あいち海上の森センター	所長	小林 敬 氏
愛知県シェアリングネイチャー協会	理事	村山 二己夫 氏
森林インストラクター会”愛”	会長	大澤 秀文 氏
◎コメンテーター		
基調講演者		森本 幸裕 氏
あいち海上の森フォーラム実行委員会	会長	マリ クリステイーヌ 氏
あいち海上の森フォーラム実行委員会	副会長	川井 秀一 氏
あいち海上の森フォーラム実行委員会	幹事	長谷川 明子 氏

閉会
あいさつ

あいち海上の森フォーラム実行委員会

川井秀一 副会長

活動発表会の参加団体の概要

愛知県シェアリングネイチャー協会

(公社)日本シェアリングネイチャー協会に所属し、ネイチャーゲームを中心に自然体験活動プログラムを普及啓発する組織です。設立は平成9年、会員は有資格者350名です。ネイチャーゲームリーダー資格取得講座や指導員研修の開催ほか、協力及び受託事業に対応しています。地域組織には、なごやネイチャーゲームの会、とよたネイチャーゲームの会、とよはしネイチャーゲームの会があります。広報活動として、会報「四季のおくりもの」(年4回発行)

事務局:aoyama@f8.dion.ne.jp HP:http://snaichi.jimdo.com/ FB:https://www.facebook.com/aichisharingnature/

○ネイチャーゲームとは

1979年に米国のナチュラリスト、ジョセフ・コーネル氏により発表された活動で、みる・きく・触る・匂うなどの私たちひとり一人がもっている感覚を使って、自然を楽しむ、自然と仲良くなるプログラムです。現在200種類以上のネイチャーゲームがあり、環境教育・福祉・学校・地域・個人活動など様々な場面にネイチャーゲームが取り入れられています。

NPO法人 海上の森の会

海上の森を愛知県と協働して保全・活用するために、平成16年に設立。会員は約120名。主な活動は、設立以来ずっと続けている生物季節調査、自然ウォッチング、キノコや水生生物などの調査学習会。森では、人工林の間伐、広葉樹林の手入れを。企業との連携で森の手入れの指導や協力も。また、里の休耕田畑を活用して米作りや、野菜の栽培を一般参加者とともに実施。これは、県民参加によって里山を守っていきこうとする活動です。里山文化の継承として、昔から行われてきた、ひな祭り、蛍狩り、月見、正月行事などの復活。11月には、ここで収穫した作物を使っての収穫感謝祭を開催します。広報啓発では、活動や歴史・自然情報を掲載した会報の発行、ホームページでの情報発信。会では自然環境の保全とともに、歴史や文化も含めたトータルとしての里山保全活動を展開しています。こうした取り組みが日本ユネスコ協会連盟の「未来遺産」として認められ、2016年に登録を受けることができました。

森林インストラクター会”愛”

森林インストラクター会”愛”(愛知地区)は、愛知県内の森林インストラクターにより平成7年発足しました。

「森林と人をつなぐ案内人」として、森林ガイド、森林浴、ネイチャークラフトなどの活動を通じ、多くの人々に森林・林業の大切さや森への親しみを持ってもらうことを目的としています。

当初より官公庁や市民団体からの依頼をうけ、とくに小学生を対象とした森林観察会や平成18年からは「子ども樹木博士」を実施し、直近では、あいち都市緑化フェア、東山植物園などの定期イベントに参加しています。

「森への関心をより高める」「森も人も豊かに」をモットーに会員のスキルアップを図っています。

名古屋市水辺研究会

1995年4月、愛知県内を流れる一級河川庄内川とその流域(矢田川等支川を含む)における水辺生態系の調査・研究・環境学習活動を実施し、県営小幡緑地公園での自然観察会等を目的として設立した。

これまで愛知県事業として水辺環境マップ作成、万博会場周辺(山口川・篠田川・海上川・北海上川・屋戸川・吉田川)水辺環境調査などに取り組み、独自活動としては、里山の田んぼの学校、マメナシ調査、トンボと遊ぼうin小幡緑地、絶滅危惧種保全活動、活動発表交流会を実施。また、小学校の総合学習、行政やNPO主催の水辺教室、指導者研修会や講演会での講師活動、東海地方の河川調査等を実施。

近年は、森・里・川・海のつながりを知る次世代の川ガキを育むことを目的としている。他に会報の発行、冊子の発刊など。

基調講演 森本幸裕 京都大学名誉教授のプロフィール



1948年大阪生まれ。農学博士。専門は環境デザイン学・景観生態学。京都造形芸術大学、大阪府立大学、京都大学大学院、京都学園大学で教授を歴任。現在は京都大学名誉教授。また、日本緑化工学会会長、日本造園学会関西支部長、日本景観生態学会会長、ICLEE(国際景観生態工学学会連合)会長、文化審議会第三専門調査会長等を歴任。現在(公財)京都市都市緑化協会理事長を務める。

意見交換会 コーディネーター 香坂玲 東北大学教授のプロフィール



静岡県生まれ。東京大学農学部卒業。ハンガリーの中東欧地域環境センター勤務後、英国で修士、ドイツ・フライブルグ大学の環境森林学部で博士号取得。

2006年からカナダ・モントリオールの国連環境計画生物多様性条約事務局での勤務を経て、2008年4月から2012年3月まで名古屋市立大学大学院経済学研究科の准教授。2012-2016年、金沢大学大学院人間社会環境研究科 地域創造学専攻 准教授。2017年、東北大学大学院 環境科学研究科 教授に就任。

近著に、「地域再生 逆境から生まれる新たな試み」(岩波ブックレット)、「生物多様性と私たち COP10から未来へ」(岩波ジュニア新書)、「農林漁業の産地ブランド戦略」(ぎょうせい)。